

「がん患者の周術期口腔管理における医科歯科連携スキルアップセミナー」

鄭漢忠

医科歯科連携をもっとも効率的に進めるには、歯科が医科のことを理解すると同時に、医科にも歯科のことを理解してもらうことが重要だと思います。お互いの仕事の内容を知らずに連携はできないことをこれまで会議でくり返し訴えてきました。

がん患者の周術期口腔管理における医科歯科連携でもそれは同じです。手術前、放射線療法や化学療法の治療前、治療中、治療後に歯科はどこまで寄与できるのかを医科側に理解していただくことが重要だと思います。一方、歯科側としては対象となる患者の治療や予後、放射線治療や化学療法の副作用などを知っておく必要があると思います。

本セミナーで放射線療法や化学療法で発生する口腔内症状とその対応について概説するとともに、口腔がんの早期診断について少しふれたいと思います。

「口腔内スキャナー・3Dプリンターを活用した顔貌主導の修復」

上浦庸司

昨年、一昨年と演者らは本学会において口腔内スキャナーを用いての治療について発表しました。今回、保険導入を見据えての口腔内スキャナー導入の勘所について当院の取り組みから解説したい。1)短時間で印象する方法、2)印象を確認するポイント、3)従来法（寒天アルジネート）との比較、また、歯科今後発展が予想される顔貌主導の修復についても言及する。

「認知症専門医が教える！脳の老化を止めたければ歯を守りなさい！」

長谷川嘉哉

1万人の歯と口内を診てきた認知症専門医。認知症専門医が「歯」と思われましたか？実は、「歯」と認知症、さらに糖尿病、肺炎、心筋梗塞などの病気は、とても深く結びついているのです！「生きる」とは「食べる」こと。噛み続けることが出来れば、いくつになっても脳は生き生きとよみがえる!! つまり、歯を守ることは、脳を守ることなのです。